

エヴィデンスの集い（ポスターセッション）

エヴィデンスワーキンググループでは「エヴィデンスの集い」として、第69回大会（広島大会）から実証研究について公募により、ポスター発表を行ってきました。本大会でもニュースレター第29号（2025年3月21日）で抄録作成要項をアナウンスし、5月10日の応募締め切り後、6月末日まで応募を延長しました。応募があった5つの抄録を検討した結果、以下のように発表していただくことになりました。発表時間になりましたら、会場にお集まりください。尚、ポスター閲覧時間は、同日の9：00～16：00です。（大会最終日は第1会場前でポスターを終日掲示します）

司 会：工藤 晋平（名古屋大学／心理療法室ともしび）

【発表1】

ワークディスカッションとは何かーファシリテータの役割と体験のプロセスー

○橋本貴裕¹⁾

¹⁾帝京大学

【発表2】

「生きづらさ尺度」の開発②：数値化しづらい精神分析的療法の効果計測のために

○久保太聖¹⁾、香月亮子²⁾、舩田亮太^{1, 2, 3)}、小田可奈子²⁾、加藤隆弘¹⁾

¹⁾北海道大学大学院医学研究院精神医学教室、²⁾九州大学大学院医学研究院精神病態医学、

³⁾椋山女学園大学人間関係学部心理学科

【発表3】

自殺に関連する精神分析的療法事例研究の質的メタ分析

○二宮佳那¹⁾

¹⁾上智大学総合人間科学研究科心理学専攻

【発表4】

頭頸部がん患者に対する精神科リエゾン活動における応用実践

○岸辰一¹⁾、志賀梓¹⁾、野村美夢²⁾、松井風佳²⁾、松下和²⁾、原千紗都²⁾、木全みこ³⁾、鈴木結希花³⁾、
木村宏之²⁾、池田匡志³⁾

¹⁾名古屋大学医学部附属病院 臨床心理室、²⁾名古屋大学医学部附属病院 精神科、

³⁾名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻脳神経病態制御学

【発表5】

精神分析的療法におけるセラピストの介入の調整ー事例のメタ分析による治療的展開の検討ー

○西村玲有¹⁾、内田亮¹⁾、濱田彬央^{2, 3)}、千葉みのり²⁾、間瀬彩佳²⁾、二宮佳那²⁾

¹⁾上智大学、²⁾上智大学総合人間科学研究科心理学専攻、³⁾アスファレス心理センター